



## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月1日

上場会社名 株式会社アイ・エス・ビー  
 コード番号 9702 URL <https://www.isb.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 逸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 竹田 陽一 TEL 03-3490-1761  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	16,590	28.3	847	25.2	863	25.6	463	13.1
2018年12月期第3四半期	12,930	5.3	676	51.2	687	53.6	409	111.4

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 481百万円 (22.8%) 2018年12月期第3四半期 392百万円 (70.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	90.71	—
2018年12月期第3四半期	80.19	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	11,962	6,506	54.3
2018年12月	9,955	6,185	62.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 6,499百万円 2018年12月期 6,185百万円

※ 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を2019年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2019年12月期	—	0.00	—		
2019年12月期(予想)				33.00	33.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	29.0	950	9.3	980	6.8	580	6.1	113.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
  - ② ①以外の会計方針の変更： 無
  - ③ 会計上の見積りの変更： 無
  - ④ 修正再表示： 有

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	5,105,800株	2018年12月期	5,105,800株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	56株	2018年12月期	7株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	5,105,782株	2018年12月期3Q	5,105,794株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）2ページ「連結予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

以 上

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に、設備投資や雇用環境にも改善が見られ、個人所得に関しましても総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。本年度10月より実施された消費増税の個人消費、国内景気への影響が懸念されますが、引き続き堅調に推移していくものと見ております。

世界経済においては、良好な雇用環境や個人消費に支えられ、米国景気は堅調に推移しているものの、米国の保護主義的な通商政策による米中貿易摩擦の影響を受け中国経済は減速してきており、英国のEU離脱問題による欧州景気の減速リスクなど、景気の先行きは以前にも増して不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、人手不足に対応するため業務の効率化や自動化を目的にした、AI、RPA等の新しいサービスを始め、既存システムの改修業務など、引き続き幅広い業種でIT関連投資は増加傾向で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、今年で2年目となる、3か年中期経営計画の重点施策を推進し、顧客市場の動向を注視しながら、積極的に受注獲得に努めてまいりました。また、新たに当社グループに加わった、3社とのシナジー効果を発揮し事業規模の拡大にも邁進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高165億90百万円（前年同四半期比28.3%増）、営業利益8億47百万円（前年同四半期比25.2%増）、経常利益8億63百万円（前年同四半期比25.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億63百万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (情報サービス事業)

情報サービス事業は、「組込み」は引き続き主要メーカーからの受注が堅調な車載を中心に、医療、家電業務も手堅く推移いたしました。「業務システム」は放送系業務が、「公共」は、自治体を中心とした改元対応等により堅調に推移いたしました。「フィールドサービス」は、クラウド関連の構築業務が拡大傾向で推移しており、新規連結会社による売上高の増加額を除いても前年同四半期を上回って推移いたしました。一方で「携帯端末」は、メーカーによるスマートフォンの開発機種数の減少、「モバイルインフラ」は、基地局の開発縮小の影響が大きく、前年同四半期を下回る結果となりました。

プロダクト事業は、営業活動の成果が出てきており、引き続き受注獲得に向け鋭意注力してまいります。

グループ経営戦略である、ニアショア、オフショアの活用およびパートナー企業との連携等の成果や新規連結会社の影響により、セグメント利益は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当事業における売上高は138億76百万円（前年同四半期比32.8%増）、セグメント利益は6億73百万円（前年同四半期比24.6%増）となりました。

#### (セキュリティシステム事業)

セキュリティシステム事業は、大型の新築案件や既存セキュリティシステムの刷新に伴う施工等、総じて堅調に推移いたしました。「建設キャリアアップシステム (CCUS)」も成果が出始めており、売上高は前年同四半期を上回りました。セグメント利益は、前年同四半期に比べ研究開発費が減少したことなどにより、大きく上回りました。

以上の結果、当事業における売上高は27億14百万円（前年同四半期比9.3%増）、セグメント利益は1億59百万円（前年同四半期比28.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末において、資産は、119億62百万円と前連結会計年度末より20億7百万円増加いたしました。これは主として受取手形及び売掛金やのれん、差入保証金等の増加額が、仕掛品等の減少額を上回ったことによるものであります。

負債は、54億56百万円と前連結会計年度末より16億86百万円増加いたしました。これは主として短期借入金や賞与引当金等の増加額が支払手形及び買掛金や未払法人税等々の減少額を上回ったことによるものであります。

純資産は、65億6百万円と前連結会計年度末より3億20百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は54.3%と7.8ポイント低下いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、計画通り推移しており、各利益につきましては、計画値を上回って推移しておりますが、景気の先行き不透明な要因も認められるため、連結業績予想につきましては期首業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,550,660	3,560,562
受取手形及び売掛金	3,628,640	3,925,445
前払費用	95,567	166,640
商品	408,283	413,832
仕掛品	208,481	161,920
貯蔵品	1,689	3,189
その他	62,910	115,408
貸倒引当金	△29,665	△32,046
流動資産合計	7,926,567	8,314,953
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	413,627	448,626
減価償却累計額及び減損損失累計額	△277,640	△300,976
建物及び構築物 (純額)	135,986	147,649
土地	605,084	605,084
その他	501,381	542,706
減価償却累計額及び減損損失累計額	△406,966	△419,452
その他 (純額)	94,414	123,253
有形固定資産合計	835,486	875,988
無形固定資産		
のれん	354,604	1,761,529
その他	141,685	86,901
無形固定資産合計	496,290	1,848,430
投資その他の資産		
投資有価証券	374,293	406,167
長期前払費用	5,279	4,684
差入保証金	166,778	230,647
会員権	11,600	14,150
繰延税金資産	88,652	213,864
その他	61,166	62,602
貸倒引当金	△10,400	△8,641
投資その他の資産合計	697,371	923,473
固定資産合計	2,029,148	3,647,892
資産合計	9,955,715	11,962,846

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,265,632	1,145,863
短期借入金	830,000	1,820,000
未払金	473,740	497,999
未払費用	59,434	122,776
未払法人税等	271,385	251,063
未払消費税等	170,931	245,887
賞与引当金	17,196	434,154
役員賞与引当金	27,460	31,126
受注損失引当金	18,058	2,617
その他	199,357	357,450
流動負債合計	3,333,196	4,908,937
固定負債		
社債	-	16,000
長期借入金	-	48,577
退職給付に係る負債	187,084	204,819
役員退職慰労引当金	186,200	191,520
資産除去債務	58,467	77,395
その他	4,929	9,352
固定負債合計	436,681	547,664
負債合計	3,769,878	5,456,601
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,707,526	1,707,526
資本剰余金	2,311,704	2,311,704
利益剰余金	2,099,556	2,394,221
自己株式	△6	△92
株主資本合計	6,118,780	6,413,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,803	118,519
為替換算調整勘定	△30,746	△32,630
その他の包括利益累計額合計	67,056	85,889
新株予約権	-	6,996
純資産合計	6,185,837	6,506,244
負債純資産合計	9,955,715	11,962,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	12,930,069	16,590,661
売上原価	10,283,260	12,793,171
売上総利益	2,646,808	3,797,489
販売費及び一般管理費	1,970,238	2,950,406
営業利益	676,570	847,083
営業外収益		
受取利息	64	3,644
受取配当金	8,976	11,223
保険解約返戻金	2,654	8,732
受取保険金	-	10,000
その他	4,824	3,857
営業外収益合計	16,520	37,458
営業外費用		
支払利息	3,074	8,849
新株予約権発行費	-	6,350
手形売却損	917	2,695
その他	1,532	2,829
営業外費用合計	5,524	20,725
経常利益	687,566	863,816
税金等調整前四半期純利益	687,566	863,816
法人税、住民税及び事業税	306,760	517,354
法人税等調整額	△28,605	△116,692
法人税等合計	278,154	400,661
四半期純利益	409,411	463,155
親会社株主に帰属する四半期純利益	409,411	463,155

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	409,411	463,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,020	20,716
為替換算調整勘定	974	△1,883
その他の包括利益合計	△17,046	18,833
四半期包括利益	392,365	481,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	392,365	481,988



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	10,445,699	2,484,369	—	12,930,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	72,376	3,723	△76,099	—
計	10,518,076	2,488,092	△76,099	12,930,069
セグメント利益	540,259	123,955	12,355	676,570

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごと固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2019年1月1日 至2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額（注）	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	13,876,275	2,714,385	-	16,590,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,634	3,758	△71,393	-
計	13,943,910	2,718,144	△71,393	16,590,661
セグメント利益	673,392	159,410	14,279	847,083

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごと固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの額の重要な変動)

「情報サービス」セグメントにおいて、株式会社テイクスおよびコンピュータハウス株式会社の発行するすべての株式を取得し（株式会社テイクスは間接保有）、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、1,512,805千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。